

# 1 総会に関する事項

令和2.6.25 午後2時からホテルグランドパレスにおいて第84回定時総会を開催し、下記の事項を決定した。

- 審議事項
- 第1号議案 令和元年度事業報告承認の件
  - 第2号議案 令和元年度決算承認の件
  - 第3号議案 平成2年度事業計画書報告の件
  - 第4号議案 平成2年度収支予算書等報告の件
  - 第5号議案 会員人事報告の件
  - 第6号議案 選定顧問報告の件
  - 第7号議案 理事・監事の改選承認の件

- 報告事項
- 会友規則の一部変更報告の件
  - 令和2年度称号授与予定者報告の件
  - 改組 新 第6回日展巡回展開催報告の件 他

# 2 理事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 2. 5. 20	第1回	(書面による決議) 1. 定時総会開催日及び場所の変更に関する件 2. 「改組 新 第7回日展開催要綱」に関する件
令和 2. 6. 5	第2回	1. 令和元年度・事業報告及び決算承認の件 2. 選定顧問承認の件 3. 理事・監事の改選の件 4. 令和2年度 特別会員称号授与予定者承認の件 5. 改組 新 第7回日展 審査員候補者推薦委員会の委員承認の件 6. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う改組 新 第7回日展関連事項の対応等の件 出品者内覧会・各科出品者懇親会・開会式・オープニングパーティー 授賞式・「日展の日」・閉会パーティー・会期中の各種イベントについて 7. その他 定時総会開催場所について 報告事項 理事長、副理事長の職務執行状況について 令和2年度新会友について 退会者及び会友辞退者について 改組 新 第6回日展巡回展大阪会場決算書について 和光「第4回美の魁け一日展の現代一」展の出品者について 他
令和 2. 6. 25	第3回	1. 理事長(代表理事)・副理事長の選定の件
令和 2. 7. 16	第4回	1. 改組 新 第7回日展審査員・係承認の件 2. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う改組 新 第7回日展関連事項の対応等の件

令和 2. 10. 29	第 5 回	<p>係会、審査員総会、出品者内覧会、授賞式、売店の設置場所について</p> <p>3. 日展運営委員会の新委員選考承認の件</p> <p>報告事項</p> <p>改組 新 第7回日展事務日程について</p> <p>会友辞退者について 他</p> <p>1. 改組 新 第7回日展巡回展基本選定作品承認の件</p> <p>2. 改組 新 第7回日展巡回展陳列指導者の選考承認の件</p> <p>報告事項</p> <p>改組 新 第7回日展巡回展 富山会場の中止について</p> <p>日展新会館の活用方針について</p> <p>理事長、副理事長の職務執行状況について</p> <p>準会員辞退者及び会友辞退者について</p> <p>日展会費預金口座振替制度の導入について</p>
令和 3. 3. 24	第 6 回	<p>1. 令和3年度 日展 関連事項承認の件</p> <p>展覧会名称について（「改組 新」を削除）</p> <p>会期・覧時間及び入場料金について</p> <p>出品手数料について</p> <p>オープニング・パーティーについて</p> <p>各科出品者懇親会について</p> <p>出陳者内覧会について</p> <p>開会式・テープカットについて</p> <p>授賞式について</p> <p>閉会パーティーについて</p> <p>会期中のイベントについて</p> <p>巡回日程(案)について</p> <p>2. 会員人事承認の件</p> <p>3. 準会員人事承認の件</p> <p>4. 会友人事承認の件</p> <p>5. 日展新会館の売却の件</p> <p>6. 令和3年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)等承認の件</p> <p>7. 定時総会日時及び予定議案承認の件</p> <p>8. 諮問委員会の新委員選考承認の件</p> <p>9. 令和3年度 日展の「日本博」参画プロジェクト認証の件</p> <p>報告事項</p> <p>大阪市立美術館の改修工事について</p> <p>和光「第5回 美の魁け一日展の現代―」展について</p>

### 3 監事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 2. 6. 5	第 1 回	1. 令和元年度事業報告及び決算承認の件

## 4 審査員候補者推薦委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
		※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、委員が集まる会議は行わず、各科毎に委員5名の相互連絡により、審査員候補者を選考（7月6日までに選考結果を事務局に提出）

## 5 係（展覧会）会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 2. 8. 4	第 1 回	<p>※令和2年度係会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各科係主任及び代表者1名による「係代表者打合せ会」として開催</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 展示室 各科割り振りに関する件</li> <li>2. 入場料金に関する件</li> <li>3. 特別入場券販売促進に関する件</li> <li>4. 「日展目録」表紙承認の件</li> <li>5. 入場券および招待状等印刷物承認の件</li> <li>6. 各科審査員打合せ会承認の件</li> <li>7. 係アシスト承認の件</li> <li>8. 出品者懇親会に関する件(開催中止)</li> <li>9. 事務日程に関する件</li> <li>10. 各科展覧会の記録に関する件</li> <li>11. その他</li> </ol>

## 6 審査員総会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
		※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止

## 7 大臣賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 2. 10. 29	第 1 回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内閣総理大臣賞の件</li> <li>2. 文部科学大臣賞の件</li> </ol>

## 8 東京都知事賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 2.10.29	第1回	1. 東京都知事賞の件

## 9 日展会員賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 2.10.29	第1回	1. 日展会員賞の件

## 10 委員会等に関する事項

### 委員の就退任に関する事項

令和 2. 7.16 令和2年度第4回理事会において下記委員会の新委員を選考した。

〔日展運営委員会〕

福田千恵 根岸右司 神戸峰男 武腰敏昭 黒田賢一

令和 3. 3.24 令和2年度第6回理事会において下記委員会の新委員を選考した。

〔諮問委員会〕

(外部委員) ※職名・肩書は令和3年3月現在

秋元雄史 (東京藝術大学大学美術館長・練馬区立美術館長)

黒川廣子 (東京藝術大学大学美術館 教授)

島谷弘幸 (九州国立博物館長)

室伏きみ子 (お茶の水女子大学学長)

八牧暢行 (中央労働災害防止協会理事長)

(内部委員)

米倉正美 西田伸一 池川 直 藤田 仁 井上清雅

令和 3. 5.27 令和3年度第2回理事会(書面による決議)において下記委員会の新委員を選考した。

(令和3~4年度委員)

〔日展ニュース委員会〕

川田恭子 水野 収 清水 優 前原喜好 堤 直美 野原昌代

月岡裕二 友定聖雄 西村東軒 福光幽石

〔出版委員会〕

河村源三 菊池治子 平野行雄 丸山 勉 寒河江淳二 堀内有子  
上原利丸 佐治ヒロシ 植松龍祥 日比野 実

〔広報委員会〕

東 俊行 曲子明良 大友義博 西房浩二 寺山三佳 中原篤徳  
林 香君 藤田 仁 井上清雅 牛窪梧十

### 諮問委員会

令和2年度における会合は1回開催

(第1回) 令2.12.2

主な審議事項

1. 改組 新 第7回日展の応募状況・審査結果等について、事務局より委員に説明後、意見交換を行った。(第1回)
2. コロナ禍における公募展の課題について、事務局より現況等を委員に説明後、意見交換を行った。(第1回)

### 日展運営委員会

令和2年度における会合は2回開催

(第1回) 令2.8.24・(第2回) 令3.3.4

主な審議事項

1. 委員の互選により委員長を選出した。(第1回)
2. 日展運営委員会規則の一部変更について確認した。(第1回)
3. 日展新会館の活用方針について、関連資料の配布、説明があり、今後の方針について意見交換を行った。(第1回)
4. コロナ禍における令和2年度日展事業予算について協議、検討した。(第1回)
5. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う日展関連行事(審査員総会・出品者内覧会)の対応等について協議、検討した。(第1回)
6. 日展会費の払込方法(預金口座振替制度の導入)について意見交換を行った。(第1回)
7. 令和3年度日展事業予算案について協議、検討した。(第2回)
8. 日展新会館の売却について関連資料を基に協議、検討し、売却する方向で理事会に諮ることを確認した。(第2回)
9. 展覧会係(応募作品の搬入受付担当)について協議、検討した。(第2回)
10. 日展会館施設利用料金の改定案について検討した。(第2回)

## 日展ニュース委員会

令和2年度における会合は4回開催

(第1回) 令2.7.2・(第2回) 9.1・(第3回) 11.13・(第4回) 12.18

※第1回・第2回はコロナ禍のため主任のみの出席。事前に他の委員から書面(メール・FAX)や電話などで校正案や意見を集め、それをもとに進めた。

主な審議事項

1. ニュース175号の寄稿文(各科地方在住入選者1名 計5名/「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ/「作家人生-私の仕事-」シリーズ/新会員のコメント)の校正を行った。(第1回)
2. ニュース175号の掲載内容を検討、決定した。(第1回)
3. ニュース176号の掲載内容を検討し、座談会テーマについて決定した。(第2回)
4. ニュース176号の寄稿文(各科ベテラン審査員・新審査員3名 計15名/「作家人生-私の仕事-」シリーズ 等)の校正を行った。(第2回)
5. ニュース176号の掲載内容を検討、決定した。(第2回)
6. ニュース177号の掲載内容を検討し、座談会テーマの確認、構成・出席者の人選等を検討した。(第2回)
7. ニュース177号の座談会の進行方法や質問事項を確認・検討した。(第3回)
8. ニュース177号の座談会を開催した。(第3回)
9. ニュース177号(座談会)の校正を行った。(第4回)
10. ニュース177号の寄稿文(各科新入選者3~6名 計15名)等の校正を行い、その他の企画(「教えて、作家さん!」等)について検討した。(第4回)
11. ニュース177号の掲載内容を検討、決定した。(第4回)
12. ニュース178号の掲載内容を検討、協議した。(第4回)

## 出版委員会

令和2年度における会合は1回開催

(第1回) コロナ禍のため書面開催 [審議期間: 令2.7.5~7.12]

主な審議事項

1. 改組 新 第7回日展刊行物の内容、発注業者、仕入・販売価格、印刷部数等を決定した。(第1回)
2. 出版物の巻末資料として、作家名・作品題名の英訳を掲載することを決定した。(第1回)
3. カラー写真の販売価格改定を決定した。(第1回)
4. 一部の図録の刊行日を早めるため、出版物の色校正を各印刷業者に一任することにした。(第1回)

## 広報委員会

令和2年度における会合は3回開催

(第1回) 令2.6.25・(第2回) 9.9・(第3回) 令3.2.25

※第1回はコロナ禍のため当初の予定(4.28)を延期して開催

主な審議事項

1. 改組 新 第7回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第1回)
2. 各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第1回)
3. 改組 新 第7回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第1回・第2回)
4. 改組 新 第7回日展の映像の撮影、編集について検討した。(第1回・第2回)

5. 令和2年度の広報活動（告知キャンペーンを含む）の実施内容および実績について報告、問題点を検討した。（第3回）
6. 令和3年度の告知キャンペーンの基本方針について検討した。（第3回）

## アートプロジェクト

令和2年度における会合は1回開催

（第1回）令2. 4. 6（代表者による会合）

主な審議事項

1. 令和2年度の実施内容（夏休み1日ART体験「Oneday Art」）を検討した。（第1回）

アートプロジェクトの令和3年4月22日現在のメンバーは下記の通り。

〔アートプロジェクト〕

岩田 壮平	亀山 祐介	川田 恭子	能島 浜江	米谷 清和	大友 義博
桑原 富一	佐藤 祐治	田辺 知治	星川 登美子	田中 里奈	中島 健太
山田 朝彦	寺山 三佳	中原 篤徳	野原 昌代	山崎 茂樹	吉岡 徹
相武 常雄	青木 宏憧	月岡 裕二	林 香君	福富 信	井上 清雅
植松 龍祥	師田 久子	高木 聖雨	永守 蒼穹		

# 11 「日本美術展覧会」の開催

## 改組 新 第7回日本美術展覧会

1. 会 期 令和2年10月30日より11月22日まで 21日間

〔休 館 日〕 毎週火曜日 ただし11月3日(火・祝)は開館 11月4日(水)は休館

〔観覧時間〕 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「日展の日」(入場無料)は中止

2. 会 場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)

3. 応募点数並びに入選点数

( ) 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
応募点数	352 (-41)	1,663 (-14)	87 (-21)	645 (-3)	8,431 (-251)	11,178 (-330)
入選点数	154 (-15)	595 (+67)	66 (-19)	449 (+26)	1,069 (+3)	2,333 (+62)
新入選点数	11 (-12)	83 (+19)	6 (-5)	38 (+6)	189 (-6)	327 (+2)

新入選点数は入選点数に含む。

4. 陳列点数

( ) 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
入 選	154 (-15)	595 (+67)	66 (-19)	449 (+26)	1,069 (+3)	2,333 (+62)
無 鑑 査	131 (-9)	123 (-2)	156 (-2)	129 (+1)	146 (+1)	685 (-11)
計	285 (-24)	718 (+65)	222 (-21)	578 (+27)	1,215 (+4)	3,018 (+51)

無鑑査＝顧問・役員・会員・準会員・前年度特選受賞者



5. 審査員および係

審査員長(理事長) 奥田小由女

◎印 審査主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
審査員	草薙奈津子 建島 哲	土方 明司 真室 佳武	武田 厚 山下 茂	内田 篤呉 黒川 廣子	神崎 充晴 鍋島 稲子
	◎土屋 禮一 渡辺 信喜 岡村 倫行 河村 源三 佐々木 曜 成田 環 米倉 正美 加藤 晋 北村恵美子 澤野 慎平 長谷川雅也 佐々木淳一 佐藤 俊介 安田 敦夫 山田 毅 米田 実	◎佐藤 哲 天野富美男 池田 清明 池田 良則 桑原 富一 長谷川 侑 濱本 久雄 松田 茂 丸山 勉 遠藤 原三 片岡 世喜 木原 和敏 大渕 繁樹 鍵主 恭夫 田中 里奈 西田 陽二 前田 潤	◎神戸 峰男 山田 朝彦 上田 久利 熊谷喜美子 谷口 淳一 辻畑 隆子 安藤 孝洋 石崎 義弘 小野 啓亘 田丸 稔 大丸 敏 一畝田 徹 吉岡 徹 井上周一郎 上田 ふみ 白石 恵里 森 矢真人	◎春山 文典 司辻 光男 武腰 一憲 月岡 裕二 藤田 仁 安藤 工 曾根 洋司 内藤 英治 西片 正 村田 好謙 山崎 輝子 横山喜八郎 青木 宏懂 小田 謙二 木谷 陽子 武腰 冬樹 古瀬 政弘	◎新井 光風 井茂 圭洞 星 弘道 土橋 靖子 有岡 郊崖 井上 清雅 木村 通子 鬼頭 翔雲 堂本 雅人 内藤 望山 永守 蒼穹 山根 互清 吉川美恵子 和中 簡堂 尾西 正成 竹内 勢雲 寺岡 棠舟

○印 係主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
係	岡村 倫行 河村 源三 佐々木 曜 成田 環 ○米倉 正美 加藤 晋 北村恵美子 澤野 慎平 長谷川雅也 佐々木淳一 佐藤 俊介 安田 敦夫 山田 毅 米田 実	天野富美男 池田 清明 池田 良則 ○桑原 富一 長谷川 侑 濱本 久雄 松田 茂 丸山 勉 遠藤 原三 片岡 世喜 木原 和敏 大渕 繁樹 鍵主 恭夫 田中 里奈 西田 陽二 前田 潤	○山田 朝彦 上田 久利 熊谷喜美子 谷口 淳一 辻畑 隆子 安藤 孝洋 石崎 義弘 小野 啓亘 田丸 稔 大丸 敏 一畝田 徹 吉岡 徹 井上周一郎 上田 ふみ 白石 恵里 森 矢真人	司辻 光男 武腰 一憲 月岡 裕二 ○藤田 仁 安藤 工 曾根 洋司 内藤 英治 西片 正 村田 好謙 山崎 輝子 横山喜八郎 青木 宏懂 小田 謙二 木谷 陽子 武腰 冬樹 古瀬 政弘	○土橋 靖子 有岡 郊崖 井上 清雅 木村 通子 鬼頭 翔雲 堂本 雅人 内藤 望山 永守 蒼穹 山根 互清 吉川美恵子 和中 簡堂 尾西 正成 竹内 勢雲 寺岡 棠舟

6. 授 賞

大臣賞	第1科	文部科学大臣賞	河村 源三	夏の夕
	第2科	文部科学大臣賞	桑原 富一	ヒトリ
	第3科	内閣総理大臣賞	楠元香代子	曙
	第4科	内閣総理大臣賞	藤田 仁	風通り抜ける岩壁
	第5科	内閣総理大臣賞	永守 蒼穹	岸本調和の句

東京都知事賞	第1科	岸野 圭作	草 宴
	第2科	丸山 勉	秋くるる
	第3科	谷口 淳一	私は飛びたい
	第4科	山岸 大成	神々の座・那智
	第5科	井上 清雅	蘇東坡詩

日展会員賞	第1科	池内 璋美	早 春
	第2科	小川 満章	窓辺にて
	第3科	櫻井 真理	やすらぎ
	第4科	待田 和宏	撓屈「瀝V」
	第5科	木村 通子	ゆく春

特 選

第1科	天野 澄子	暮れゆく	石崎 誠和	林 檜
	高井 弘明	黄昏の緋色	立花 大聖	返信のないメール
	田中 達也	刻ノ痕跡	谷野 剛史	朝
	辻野 宗一	誘境に	西坂 省三	秋の日
	宮原 剛	初 詣	行近壯之助	日輪讃歌
第2科	池上わかかな	マイナスの世界	池田 茂	悠久への想い
	吉川 和典	キャンパスを前にして	佐藤 京子	マ ツ
	佐藤 洋子	冬 隣	志水 和司	手・GA・MI
	武石 英孝	history	本田 年男	いにしえの舞
	山本 佳子	白い刻	米澤 玲子	人形劇
第3科	秋田 美鈴	臥 ゆ	奥森日向子	木洩れ陽
	近藤 哲夫	大 地	志萱 州朗	東雲の湖
	重政 信明	樹	高橋 忠	追 想
	田中 宏典	風をつかんで	丹羽 俊揮	誰も知らない空の果て
第4科	金井 伸弥	「志向」その先	近藤 卓浪	okura rockets
	近藤 学	象嵌彩 暁の景	齋藤 卯乃	未来への兆し2020
	竹河いみ子	躍 動	富岡 大資	始まり
	繁昌 孝二	今を歩む	藤藁 隆	青の領域
	松木 光治	宙ありき	山口 和子	翔
第5科	石川 青邱	弘 育	川合 玄鳳	島崎藤村の詩
	川上 鳴石	糸 桜	辻 敬齋	承顔接辞
	角田 大壤	戯 娛	長井 素軒	山たかみ
	中村 史朗	杜少陵詩	藤川 翠香	山たかみ
	牧野 聖雲	清 明	山内 香鶴	楊柳枝詞

7. 入場者数 合計 52,105人 (21日間)

( ) 前年度比

有 料	入場者数(人)	無 料	入場者数(人)
一 般 券	3,773 (-5,340)	招 待 券	21,871 (-21,363)
学 生 券	343 (-190)	美 術 学 生 券	355 (-86)
トワイライトチケット ( 一 般 )	1,198 (-1,113)	小中学生無料鑑賞券	2,603 (-1,948)
トワイライトチケット ( 学 生 )	136 (-133)	資 格 証	9,444 (-10,881)
一般券 (場外売)	230 (+159)	優 待 証	380 (-2,386)
学生券 (場外売)	11 (+8)	美術家連盟・評論家連盟	328 (-275)
一 般 団 体 券	1,709 (-24)		
学生団体[高・大]券	89 (-347)		
一 般 前 売 券	749 (-437)		
学生前売[高・大]券	15 (-13)		
特 別 入 場 券	8,149 (-5,515)		
新聞販売店用チケット	722 (-1,733)		
計	17,124 (-14,678)	計	34,981 (-36,939)

月日	曜日	入場者数(人)	月日	曜日	入場者数(人)
10/29	木	540	11/11	水	2,918
10/30	金	2,487	11/12	木	2,742
10/31	土	2,057	11/13	金	2,466
11/1	日	1,742	11/14	土	2,770
11/2	月	1,538	11/15	日	2,934
11/3	火・祝	2,131	11/16	月	2,506
11/4	水	休館日	11/17	火	休館日
11/5	木	1,962	11/18	水	3,097
11/6	金	1,777	11/19	木	2,525
11/7	土	2,188	11/20	金	2,158
11/8	日	2,664	11/21	土・祝	2,787
11/9	月	2,163	11/22	日	3,953
11/10	火	休館日	計		52,105

※10/29は会員、準会員及び今回展特選受賞者限定の出陳者内覧会

## 巡回日展

改組新第7回展分を3会場で開催。(改組新第6回展分の3会場は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止)

	開催地	開催期間	会場	開催者	入場者数(人)
改組新第6回展	安曇野	<del>R 2. 4.25～R 2. 5.17</del> 開催中止	安曇野市豊科近代美術館	安曇野市豊科近代美術館 公益財団法人安曇野文化財団	—
	金沢	<del>5.23～6.14</del> 開催中止	石川県立美術館	北國新聞社	—
	長崎	<del>6.21～7.20</del> 開催中止	長崎県美術館	日展長崎展実行委員会	—
改組新第7回展	京都	R 2.12.19～R 3. 1.15	京都市京セラ美術館	日展京都展実行委員会	16,344
	名古屋	R 3. 1.27～ 2.14	愛知県美術館ギャラリー	日展名古屋展実行委員会 中日新聞社	15,887
	大阪	2.20～ 3.21	大阪市立美術館	日展大阪展実行委員会	30,271

## 12 美術に関する講演会及び講習会の開催

### 講演会・シンポジウム・映像による作品解説等

専門的・客観的視点でのテーマを設けた講演会や、各科独自にシンポジウム形式の討論会を行うほか、日展作家が映像を使って出品作品をわかりやすく解説する。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止

### らくらく鑑賞会

出品作家達とゆっくり全科のダイジェストを鑑賞する。自己紹介から始まり、昼食や休憩などをはさみながら、鑑賞者が、作家、作品と一歩近づいて、展覧会を楽しむ。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止

### ミニ解説会

一人からでも解説が受けられる。来館時、好きな部門に申し込みをすれば、少人数の解説会に参加できる。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止

### 「作家の声を聞くプログラム」

「講演会・映像による作品解説」、「らくらく鑑賞会」、「ミニ解説会」の代替企画として実施。日展の見どころや作品解説、アトリエインタビューなどの映像を放映する。

場 所 国立新美術館(日展会場)・日展公式サイト

第1回 「作家インタビューダイジェスト」

第2回 「改組 新 第7回日展を巡る」

奥田小由女理事長と土屋禮一副理事長が女優・一色采子さんをナビゲート。今年の日展の見どころを巡る。

第3回 「作品の解説」

今年の審査員が、受賞作品を中心に解説する。

●作品の解説 <日本画> <洋画> <彫刻> <工芸美術> <書>

## 13 美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催

### わくわくワークショップ

日展鑑賞を通じて“親子で一緒に感じる、考える、話す”時間を持ち、作品との出会い、発見などの体験を共有する。素材体験から鑑賞まで。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止

### わくわくワークショップ—特別編—「手紙を書こう！」

日展を鑑賞して、好きな作品の作家に手紙を書く。会場内のポストに投函すると、後日作家から返信が届く。鑑賞して思ったことを「言葉」で伝える。

対象 小学生～高校生

◎ 投函数 223 通

### 夏休み1日ART体験「第16回 Oneday Art」

「作品をつくる」体験をし、作品や作家とのかかわりを通して多様な世界観を学んでほしい—という日展の芸術文化普及活動。制作した作品は公式サイトで紹介した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、作品展は中止。  
※共同制作の作品は、この他、日展会場、パブリックスペースでも展示。

主催 公益社団法人 日展

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」

場所 日展会館・イベントスペース 他

		指導作家	時間	参加人数	内 容
8月1日 (土)	工芸美術 (陶)	林 香君 南雲龍比古 村田真樹 福富 信 (サポート) 高橋和則 村越郁夫	10:30 ～ 12:30	7組 15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『世界に一つだけの花』</li> <li>・七色粘土を使って</li> <li>●作家のデモンストレーションで陶芸に関する基礎知識を学ぶ。(冒頭～20分)</li> <li>●カラーの粘土を使用。基本的な技法を学びながら造形。参考作品を見て、出来上がりをイメージ。</li> <li>●各自で制作。(約50分)</li> <li>●共同制作の、「宇宙から見た地球」のモチーフを作成(約20分)</li> <li>●講評、仕上げについての説明、片付け。(20分)</li> <li>●作品は、(後日)乾燥後、焼成。担当作家による仕上げ、最終チェック。作品撮影。</li> </ul>

		指導作家	時間	参加人数	内 容
8月2日 (日)	彫刻	野原昌代 中原篤徳 (サポート) 吉岡 徹 寺山三佳 廣川政和 (オブザーバー) 山田朝彦	13:30 ～ 16:00	2組 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『ぼくと私のオリンピック』</li> <li>ー好きなスポーツを形にしよう！ー</li> <li>●彫刻に関する基礎知識を学ぶ。(13:30～13:45)</li> <li>●(子供)木の土台とアルミ線、紙粘土による制作 台座の上にアルミ線でイメージした形の心棒を作る。 (13:45～14:00)</li> <li>●心棒に紙粘土で肉付けしていく。(14:00～14:40)</li> <li>●イメージに合った土台を組み合わせ、紙粘土の人物や動物、イメージを形にしたものをジョイントさせる。 (14:40～15:00)</li> <li>●共同制作のメダルに模様を入れる。(15:00～15:30)</li> <li>●講評。作品撮影。片付け。(15:30～16:00)</li> <li>●(中学生・保護者)テラコッタで頭像を作る。 作品は、乾燥させた後、焼成する。</li> </ul>
8月8日 (土)	書	井上清雅 師田久子 綿引滔天 (サポート) 尾花太虚 角田大壤 斉藤真澄 滑田耀齋 松浦龍坡 (監督) 高木聖雨	13:30 ～ 16:00	9組 13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『毛筆文字に親しもう！』</li> <li>●書に関する基礎知識を学ぶ。グループ分けし、それぞれの工程を時間差で体験する。</li> <li>●二つ折り色紙に好きな文字を書く。色々な書体で書いてみる。(約40分)</li> <li>●自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。(約30分)</li> <li>●墨作り職人の実演。練った墨玉を握って、握り墨を体験。(約20分)</li> <li>●講評。作品撮影。片付け。(約20分)</li> <li>●後日(→つくった作品を切手に)</li> </ul>
8月9日 (日)	洋画	田辺知治 大友義博 茅野吉孝	13:30 ～ 16:00	5組 12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『夏を描く』(油彩)</li> <li>●油彩画の特徴 油絵具の使い方を学ぶ。(13:30～13:45)</li> <li>●作家のデモンストレーション(13:45～14:05)</li> <li>●描きたいモチーフを選ぶ。F4のキャンバスを使い、静物(夏野菜や夏の花)を木炭でスケッチ。(14:05～14:25)</li> <li>●油彩で着色。(14:25～15:10)</li> <li>●油彩で0号のキャンバスボードに夏の出来事や思い出を描く。(15:10～15:40)</li> <li>●描きあがった作品にサインを入れる。</li> <li>●額に入れてみる。講評。作品撮影。片付け。(15:40～16:00)</li> </ul>
8月15日 (土)	日本画	岩田壮平 亀山祐介 川田恭子 能島浜江 (サポート) 青鹿未奈 井上恵理	13:30 ～ 16:00	8組 13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『団扇に金銀、岩絵具で“めでたいもの”を描こう』</li> <li>・団扇に福(めでたいもの)を描く</li> <li>●作品例を見せながら日本画の特徴を説明。 画材(岩絵具や麻紙)や、日本画の基本的な技法を学ぶ。(13:30～13:45)</li> <li>●2種類の団扇から好きな形を選ぶ。制作の工程を説明。 作家のデモンストレーション(13:45～14:00)</li> <li>●各自用意してきたデザイン画を元に、金銀の絵具や岩絵具などで描いた後、乾かす。(14:00～15:15)</li> <li>●共同制作のSMサイズの麻紙ボードに1年の出来事(年中行事)を描く。(15:15～15:45)</li> <li>●講評。作品撮影。片付け。(15:45～16:00)</li> <li>○自然の色の美しさと調和を実感してもらう。</li> <li>○実際に岩絵具と膠を指で溶き、描いてみる。独特の質感を楽しむ。</li> </ul>

実施内容(共同制作) ※1500×850mm1枚もしくは750×850mm2枚パネル	
日本画	『1年の出来事を描こう!』年中行事を描いてみよう! ●担当作家が描いたバックに、各自用意したデザイン画を元に描いた麻紙ボードを貼っていく。
洋画	『みんなの夏』 ●作家が描いた背景に、夏の出来事や思い出を描いた0号のキャンバスボードを貼っていく。
彫刻	『みんな輝け!』 ●金メダルをデザインし、テラコッタ粘土で造形したものを焼成、金で着色し、パネルに取り付ける。
工芸美術 (陶)	『宇宙から見た地球』 ●陶板ように大きく広げた粘土に、宇宙空間にありそうなものを彫る、削る、引っ搔くなどして表現。切り分けて焼成。焼成後、再び組み合わせる。
書	『文字のオリンピック』 ●ハガキ大の半紙に好きな文字を書き、切手シートにする(後日→パブリックスペース陳列用)

◎総参加人数 31組 57名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、通常の1/2の募集人数



## 14 研究冊子及び図書の刊行

### 出版企画実施内容（令和2年度中に刊行または印刷）

#### 改組 新 第7回日展目録

- [判 型] B5判（タテ18.2cm×ヨコ25.8cm）72頁
- [発行日] 令和2年10月30日
- [発行部数] 3,000部
- [定 価] 100円 [税込]
- [内 容] 東京会場全陳列作品題名および作家名・現住都道府県名を掲載  
授賞理由、展示早見表など諸資料掲載
- [表 紙] 井茂圭洞
- [製 作] 株式会社新協

#### 改組 新 第7回日展作品集

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）160頁 598点掲載
- [発行日] 令和2年10月30日
- [発行部数] 2,900部
- [定 価] 3,000円 [税込]
- [内 容] 全会員・審査員・受賞者の出品作品をオールカラーで収録  
作家名・作品題名の英訳（巻末）、諸資料掲載  
別冊資料：作家本人による作品解説・釈文（書）掲載 40頁
- [表 紙] 土屋禮一・佐藤 哲・神戸峰男・今井政之・新井光風（出品作・部分）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第7回日展図録（日本画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）64頁 285点掲載
- [発行日] 令和2年11月5日
- [発行部数] 1,400部
- [定 価] 3,200円 [税込]
- [内 容] 日本画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
- [表 紙] 土屋禮一（出品作）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第7回日展図録（洋画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）148頁 718点掲載
- [発行日] 令和2年11月5日
- [発行部数] 2,800部
- [定 価] 3,200円 [税込]
- [内 容] 洋画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
- [表 紙] 佐藤 哲（出品作）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

改組 新 第7回日展図録（彫刻）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）60頁 222点掲載  
[発行日] 令和2年11月5日  
[発行部数] 600部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 彫刻部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 神戸峰男（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

改組 新 第7回日展図録（工芸美術）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）120頁 578点掲載  
[発行日] 令和2年11月5日  
[発行部数] 1,300部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 工芸美術部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、技法表記、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 今井政之（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

改組 新 第7回日展図録（書）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）216頁 カラー179点、モノクロ1,036点、合計1,215点掲載  
[発行日] 令和2年11月3日  
[発行部数] 3,200部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 書部門の全陳列作品を全会員・審査員・てん刻はカラー、他はモノクロで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 新井光風（出品作）  
[製 作] 富士美術印刷株式会社

絵はがき（オフセット印刷）

- [判 型] はがきサイズ（10.5cm×15cm）  
[定 価] 400枚単位—24,000円 [税込] （売店販売定価1枚—100円 [税込]）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社、半七写真印刷工業株式会社、富士美術印刷株式会社

カラー写真

- [判 型] 2Eサイズ（10.7cm×15.3cm）  
[定 価] 10枚単位—6,000円 [税込] （売店販売定価1枚—400円 [税込]）  
[製 作] 株式会社アートデザインセンター

日展ニュースの発行

第175号	令和2年7月31日発行	発行部数	21,000部
第176号	令和2年9月28日発行	発行部数	35,000部
第177号	令和3年1月30日発行	発行部数	21,000部

## 15 美術に関する研究及び調査

### 日展会館・日展新会館企画実施内容

#### [会館スペースの貸出し]

展覧会場や会議・研究会の場として、会館スペースの貸出しを行った。

#### (展覧会)

名 称	展 示 内 容	開 催 期 間	会 場
第65期連盟卒展	書作品	令和3年 3月13日～3月14日	日展会館

#### (会議・研究会・教室等 使用団体)

一般社団法人 新極美術協会  
芥子園研究会  
公益社団法人 日本新工芸家連盟 関東地区会  
公益社団法人 日本彫刻会  
新日春会  
永井画廊  
白日会  
蒔絵の会

(令和2年度会館スペース貸出収入) \*金額は税込  
合計 608,050円 前年度比 -1,848,450円